

疑似未来体験セット

【N-2001】

<取扱説明書>

日 陶 科 学 株 式 会 社

本 社 〒 461-0025

名古屋市東区徳川二丁目 18-3

TEL 052-935-8976

FAX 052-935-5283

東京支店 〒 176-0004

東京練馬区小竹町二丁目 53-2

TEL 03-3974-8931

FAX 03-3974-8947

この度は、 疑似未来体験セットをお買い上げいただきまして、
まことにありがとうございます。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読み下さい。

なお、 この取扱説明書はお手元に大切に保管して下さい。

目 次

- ① 使用上の注意
- ② 特長
- ③ 疑似未来体験セット
- ④ 装着方法
- ⑤ 目的
- ⑥ 構成表

① 使用上の注意

体験者は必ず介助者の付き添いで行うこと。一人での体験はしないこと。

- 初めて体験する方は、片側のみの装着で体験すること。
- 階段での使用は、転倒しないように充分注意すること。
(特に高角度の階段での体験は危険なので避けること。)
- 体験中は走らないこと。
(転倒事故の原因になります。)
- 体験中に体に異常を感じたら直ちに使用を中止すること。

② 特長

1. 小・中学校の総合的な学習に使用できるように組み合わせてあります。
2. メガネのレンズを交換することによって、白内障、緑内障による視覚機能の変化が体験できます。
3. 耳栓は高周波音域を遮断する特性の耳栓を使用しているので高周波音の聴取が困難な老人性難聴の体験ができます。
4. 持ち運びに便利な収納ケース付きです。

③ 疑似未来体験セット

高齢者は加齢に伴い姿勢や動作、そして感覚に変化が現れます。

背中や腰をかがめ関節にも変化をきたし、動作がおぼつかなくなります。

感覚の変化は、社会生活にも変化を与えます。

疑似未来体験セットは、この様な加齢に伴う身体の変化が与える日常生活の不自由を体験するものです。

この体験セットの装着により、身体の不自由さにショックを受けるかも知れません。

しかし、これらの変化は年を重ねた変化であって急激な変化ではありません。

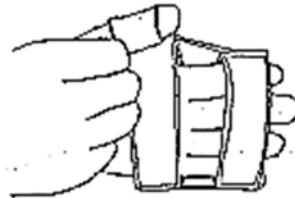
体験セットは道具であって、実際に身体に拘束具や重りを付けた様な状態や、ゴーグルをかけた様な感じになるわけではありません。

体験者は以上のことによく理解した上でご使用して下さい。

④ 装着方法

装着は必ず介助者が付き添いで行って下さい。

1. 綿手袋をはめてから、指拘束具のゴムの間に手を入れて装着して下さい。 (図 1)



(図 1)

2. 左右の肘にサポーターを着用します。
3. 左右の肘とサポーターの間に付属のソフトシーネ（ミニ I 型大）を内側又、外側に差し込んで下さい。
4. 左右の膝にサポーターを着用します。
5. 左右の膝とサポーターの間に付属のソフトシーネ（ミニ II 型小）を内側又、外側に差し込んで下さい。

注意：サポーターとソフトシーネの関係は右、左各 1 枚、1 個ずつとして装着して下さい。
装着後、負担がかかるようでしたら、片一方のみの装着にして下さい。

6. 手首に (500g)、足首に (1kg) のアンクルウェイト（重り）を左右に装着して下さい。

注意：装着後、負担がかかるようでしたら、片一方のみの装着にして下さい。

7. 付属の耳栓を指手で円筒状に小さく丸め、すばやく耳の孔に挿入します。
自然にふくらみ耳にピッタリフィットします。

8. メガネを装着して下さい。

付属のフィルターを交換することにより、視野狭窄、白内障、緑内障の体験が出来ます。

9. 盲人体験の場合は、付属のアイマスクを装着してください。

"注意"

この場合、完全に見えなくなりますので、行動範囲を制限して下さい。

装着後は、必ず介助者が付き添いのもとで、行動して下さい。

10. 杖を利き手の方に持ってください。

11. ゼッケン(高齢者体験中)をつけて下さい。

⑤ 目的

●メガネ (視覚障害体験用)

高齢者によく見られる症状で、白内障や緑内障などの視覚機能の変化を体験する。

●アイマスク (視覚障害体験用)

盲人 (視覚完全障害)の体験をします。

●耳栓 (聴覚障害体験用)

高音域を聞きづらくする耳栓をつけることで、老人特有の難聴を体験します。

●ソーター、シーネ、アンクルウェイト (重り) (屈曲困難、筋力低下体験用)

関節を固定することによって動作が緩慢になり、手首と足首にアンクルウェイトを付けることで筋力の衰えを体験します。

又、足首に左右違った重りを付けることにより、平衡感覚の変化を体験します。

●綿手袋 (手指機能低下体験用)

物をつかみにくくする状態にし、手指の感覚低下を体験します。

●指拘束具 (手指機能低下体験用)

指関節を固定することにより、手先が不自由な状態を体験します。

●杖 (歩行補助体験用)

上記の用具を身につけると杖がいかに大事かを理解体験します。

●ゼッケン (体験学習表示用)

他の人に体験中とわかるようにします。

⑥ 構成表

名 称	数 量
メガネ	1 個
アイマスク	1 個
耳栓	5 ペア
ソーター	肘、膝用 左右各 1 枚、計 4 枚
シーネ	肘、膝用 左右各 1 枚、計 小 2 枚、大 2 枚
アンクルウェイト	手首用 (500g)、足首用 (1kg) 左右 1 組
綿手袋	6 双
指拘束具	左右 1 組
杖 (折りたたみ式)	1 本
ゼッケン	1 枚
取扱説明書	1 冊
収納ケース	1 個

